

議 事 概 要 書

会議名称	令和5年度 第1回社会教育委員会議（定例会）
日 時	令和5年4月21日（金）午後1時20分～2時10分
場 所	伊那市役所 多目的ホール／視察：美篤、伊那地区
出席者	伊那市社会教育委員：委員10名（欠席なし） 事務局：教育長、教育次長、生涯学習課長、係長、担当 生涯学習課係長（文化財係長、青少年係長、美術館副館長、公民館係長、伊那図書館長、高遠教育振興係長、長谷教育振興係長）
議 題	下記のとおり
議 事 内 容	
<p>1 開会（生涯学習課長）</p> <p>2 あいさつ</p> <p>教育長：3月20日に昨年度のまとめの委員会を行い、本日が本年度第1回の会議になる。よろしくお願ひしたい。何回もお話させていただいたが、小中学生が伊那市に約 5000 人いて、昨年度1年間で、2000 人を超える児童生徒が新型コロナウイルス感染症の陽性となった。これは 40%ということになる。この数字をどのように読むかだが、いろいろな読み方があると思う。子どもたちが2年以上、大変、感染症の予防に日々取組み、昨年、感染力の強いウイルスが拡がり始めたときに、子どもたちへの拡がりは大変強いものがあったと思う。現在第9波ということが言われ始めている。子どもたちの感染は止まっていないが、日常的な予防に努め、出来れば学級閉鎖という事にならずに、子どもたちに落ち着いて生活してもらいたい。</p> <p>昨年もお配りさせていただいたが、お手元の伊那市教育委員会の運営方針に、「はじめに子どもありき」から始まり、項目の2の中で、具体的な取組みを書いてある。その中に、「一人に確かに届く」、また、昨年度、教育は福祉そのものではないか。そのような私たちの捉えかたから、「学びを止めない」「給食を止めない」ということを続けて、教職員はそうした気持ちをもって、学校運営にあたってきた。それから、「生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利」と、今回書かせていただいた。これは、子どもの権利条約に書かれているものである。生涯学習自体がそうであるが、本質的、日常的ということも申してきたが、そもそも子どもとはどのような存在なのか、そうした本質的、日常的なところに、立ち返りながら私たちの取組みを作っていこうという気持ちで、そのことを載せさせていただいている。</p> <p>いつもありがたく感じているが、社会教育委員の皆様は、ご自分の足で尋ねて目で見てください、感じ取られたことをこの委員会で発言いただいている。そのような貴重な取組みが市報での「社会教育委員が行く」に繋がったのだと思う。毎月、楽しみに読ませていただいているが、市民の皆さんからもそのような声を聞いている。令和5年度の取組みにも期待をさせていただき挨拶とさせていただきます。</p>	

会長：新緑の大変美しい季節となった。今年度も社会教育事業が始動し、各公民館や地域の活動も活発に展開し始めていると思う。私たちは、この3年間コロナ禍にあり、様々な制約の中で活動をしてきたところである。この5月8日より新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられ、これまで見送られてきた活動も、今後活発に展開されるものと期待しているところである。また本年度、委員の皆様にご協力いただき事業として、7月に伊那市が当番市として開催される、「諏訪・上伊那地区の総会及び研修会」がある。委員の皆様にも様々な分野でご協力をいただくことになるをお願いしたい。私たちも、皆様方が発信してくださる情報や、様々な研修会への学びを通じて、地域へ持ち帰り、活動に繋げていきたいと感じている。本日、会議終了後、委員から推薦いただいた「我がまちのいいところ10選」の視察をさせていただく。よろしくをお願いしたい。この一年間、委員の皆様、事務局にはお世話になるがご支援ご協力をお願いしたい。

3 自己紹介（事務局、各係長）

4 教育委員会事務局組織と事務分掌について（課長）

<質疑・意見なし>

5 会議事項（進行：中村会長）

(1) 生涯学習関係主要事業の概要について（課長）

<質疑・意見なし>

(2) 生涯学習関係行事日程について（係長）

(3) 社会教育委員関係行事等日程について（係長）

(4) イベントリストについて

<質疑・意見なし>

(5) その他

- ・社会教育委員選出（各協議会等へ選出）の各委員について
- ・我がまちのいいところ10選について
- ・各係長への質問等があれば

委員：図書館へお願いだが、市報等を見ても、子ども向けの読み聞かせ等を行っていただいております、ありがたいと思うが、大人に特化した、例えば、テレビ等で健康寿命の長い地域は、図書館の近くであるなど聞いたことがある。大人が、図書館に足が向くような大人向けの読み聞かせや、大人が図書館でゆったりできるような催し、また、例えば自主出版の本が、家に多くあるという話を聞くこともあるが、自主出版の会のような、大人が足を運べるようなものがあると、より良いのではと思う。

課長：いただいたご意見は課内で共有していきたい。利用者を増やすという面で有効だと思うので、検討させていただきたい。

委員：高遠の美術館のオープニングセレモニーで、以前は上伊那出身の若手芸術家のピアノのコンサートなど、いろいろな楽器の発表会のように行って、それがすごくよかった。新型コロナウイルス感染症も収まりつつあるので、出来るのであれば、また実施していただきたい。

課長：新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきているので、そのような取組みについて、担当を通じて、そのような声がある旨の要望を伝える。また、前任の副館長からは、新型コロナウイルス感染症が収まってきたら、前向きに検討したいとの話は聞いている。

委員：昨年度のイベント参加報告でも出てきていたが、イベントリストの中にも、人権についての講演会等があるが、パンフレットやチラシが配られると参加したい気持ちになる。今年もアピールしていただきたい。昨年も参加させてもらったが、民生委員や市民大学の学生など、いろいろな職種の方が参加をしていた。これはぜひ続けていただきたい。また、出来るなら、良い話であるので、学校現場の先生の皆さんにも聞かせてあげてほしい。

係長：生涯学習係では、大きな講演会を3つ行っている。市民大学との共催、学校関係との共催、保育協会関係との共催で行っている。保育協会の関係については、主に育成会や補導員の方が多く参加しているが、保育協会の関係、市民大学との共催の講演会についても、学校関係には周知させていただいている。引き続き、幅広い範囲で周知をしつつ、講演会は続けていきたいと考えている。

6 閉会（副会長）

7 「社会教育委員発！我がまちのいいところ10選」研修視察

- ・視察先 美篤地区 「駒石」、「六道堤」
伊那地区 伊那街道「伊那部宿 旧井澤家住宅」